

# 町政を問う!!

11 議員が質問・提案を

## 地域医療

### 佐賀と拳ノ川の医師確保は

### 最重要課題として取り組む



いwashい 岩義 議員  
ふじもと 藤本

**問** 拳ノ川診療所の常駐医師不在は、地域住民の不安を招き生活の質を落としている。医師確保に向け明るい話も聞くが、成果を聞く。

一方、佐賀診療所は、現医師の存続を望む声が非常に高い。町長はこの町民の切なる思いを重要視して腹を割った話し合いをしているか。  
また、国保会計の危機がいわれるとき直診の果たす役割が大事と考えるが、町の地域医療の方針はできたか。

**答** 大西町長

拳ノ川診療所医師については問い合わせがあり、条件を含め慎重に対応している。(最終日、関連条例等可決)

佐賀診療所の先生と話をし、慰留に努めた結果、少し期間を延長していただいた。慰留が叶わない場合、全力で最重要課題として医師確保に努める。

地域医療の素案は現在とりまとめ中でまだ報告できる段階でない。

## 山間衰退対策

### 消滅集落になるのを 総合戦略で考える 防げ

**問** 黒潮町には65歳以上が50%を超える限界集落が12集落ある。近年、山間部の衰退が著しい。地域が消滅集落に

ならないよう対策はどのように考えているか。

山間部では、ゴミ置場が2Kmも離れたところであったり、買い物もタクシーで行き来している。しかし、道は落石がごろごろしている。水路等の改修も負担金が高く、今後維持していけないなど多くの問題がある。「まち・ひと・しごと総合戦略」の作業部会を担う職員は、山間部に向いた事があるのか。現場、現物、現実の三現主義を徹底する事で空理空論を排除し良い案が出るのでは。

**答** 武政総務課長

総合戦略を策定するに当たり、産官学金労言からなる様々な分野の参画を願って意見をくみ上げている。

① 外商戦略で雇用創出。② 新しい人の流れを作る。③ 結婚子育て支援。④ 住みやすい地域づくりを基本目標にしている。山間部の衰退を防ぐにはこの4項目が大事になる。職員には地域に向くよう話をしていく。

## ふるさと納税

### スピードと知恵で 早急に対応する 増収を

**問** 3月議会で指摘したふるさと納税は黒潮町の財政を潤し、経費を掛けず特産品の地産外商になる。スピードと知恵の出し合いであるがどこまでできたか。奈半利町は2億円、我が町は328万円。ホームページや関係サイトへの記載も早く対応すべきではないか。

**答** 武政総務課長

急を要する事、地産外商に有効なことは重々承知しているがまだできていない。他の自治体も参考に地方版総合戦略と絡めて対応したい。ホームページ等は早急に対応する。

その他の質問

※情報基盤整備について